

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|------------------|---------|----------------|
| ○事業所名 | くれよん（放課後等デイサービス） | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和6年10月21日 | | ～ 令和6年11月1日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | くれよん52名 | (回答者数) くれよん31名 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和6年10月21日 | | ～ 令和6年11月1日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 7名 | (回答者数) 7名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和7年3月24日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|---|
| 1 | 個別支援計画に沿って、そのお子さんが必要な社会スキルを設定し、子どもが必要なスキルの練習を行っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・社会スキルの練習をそれぞれのお子さんに合わせて、視覚的な提示や練習の仕方を工夫している。 ・練習やスキルができた時には、効果的に褒め、ポイントを用いて評価をしている。 ・ポイントの累計で結果のおやつの大きさを換え、子供たちのモチベーションとなるように工夫している。スキル達成のお祝いを行い、周囲の人から良い注目を得られるように工夫している。 | 社会スキルの練習を継続し、ご家庭でも前向きに子育てを行う方法として、保護者への講座を計画的に行い、ご家庭と協力していきたい。 |
| 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・活動内容を月間で計画的に立案し支援している。 ・子どもを十分に理解し、子どもの特性に応じた支援を提供できている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・お子さんの年齢や発達に合わせて、運動(体幹)の活動、製作活動、将来に役立つSST（ソーシャルスキルトレーニング）の活動などを取り入れている。 ・運動の活動については、体幹を鍛える為に、同じ内容を繰り返し、取り組んでいる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・SSTの向上、体幹の活動の幅を広げていきたい。 ・調理活動など、小集団で協力して作業する機会などを作っていく、社会性やコミュニケーションの向上を図りたい。 |
| 3 | 定期的に、保護者との面談や子育てに関する話をさせていたいている。 | 年に2回、個別支援計画の内容、ご家庭での様子、子育てについてなどを聞く機会を設けている。また、送迎時にご家庭での大変さや子育てや進路についてなどを聞かせて頂いている。 | 電話連絡で、ご家庭での様子やくれよんでの取り組み、学校での様子などを聞かせていただく時間も定期的に作っていききたい。また、事業所と共通してご家庭で取り組みそうなことを一緒に考えさせていただく機会も作っていききたい。 |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---|---|
| 1 | 活動の様子や行事予定などの情報発信や、保護者との連絡体制等において、SNSの活用ができていない。 | 活動内容の報告は通信に載せるか面談時、送迎時の引継ぎで行っているが、時間が限られているため十分ではない。 | 周知の仕方を検討する必要がある。 SNS等の活用も検討し、事業所での日頃の子どもたちの様子がすぐに確認できることで、保護者も安心して利用できると考える。 |
| 2 | 保護者同士の交流の機会を作ることができていない。 | 年間の行事として、秋祭り、学習会は設定しているが、交流の機会を設定出来ていない。平日は保護者の方も忙しい為、参加者が少ない現状がある。土曜日開催も視野に入れ調整が必要になるが、職員の勤務調整にも課題がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・平日開催、土曜日開催の茶話会などを企画し、保護者同士の交流の機会を作れるよう検討していく。ただ話をするだけではなく、ワークショップなどの作り物をしながら交流できる工夫をしていきたい。 ・どのような形であれば、SNSを活用して、情報を発信できるのかを調べて、検討していきたい。 |
| 3 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会を作ることができていない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・児童館への働きかけや利用しているお子さんの特性や対応方法などを一緒に考える機会を作ることができていない。 ・何か問題が起きてから連絡を取り合うことが多い。 | <ul style="list-style-type: none"> ・定期的な情報交流や対応方法についての会議を設けていながら、児童館の先生方との関係構築を行ってきたい。 ・活動の一貫として、児童館で遊ぶなどの計画ができるのかを話し合いを行っていききたい。 |

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 くれよん（放課後等デイサービス）

公表日 令和 7年 3月 28日

利用児童数 52名

回収数 31名

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 | |
|---|---|----|---------------|-----|-------|---|---|--|
| | | | | | | | | |
| 環境・ 体制 整備 | 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 29 | | 1 | 1 | | | |
| | 2 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 23 | 3 | 2 | 3 | ①職員数が不足しているのはどこも同じですが、人材不足をどう解消するのか、法人全体で検討してほしいです。 ②子どもが何人いて先生が何院いるのかを把握できていません。 ③送迎が大変そうです。 | ①法人全体で人員の確保、人材育成について真摯に考えていく必要があります。 ②面談や通信などでお伝えしていきます。 ③距離的なものは改善が難しいですが、今後も安全に留意して送迎させていただきます。 | |
| | 3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 27 | 1 | | | 3 | | |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 31 | | | | | | |
| 適切な 支援の 提供 | 5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 30 | | | 1 | いつも丁寧な支援に感謝しています。 | | |
| | 6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 29 | | | 2 | | | |
| | 7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 29 | | | | 2 | | |
| | 8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 29 | | | | 2 | | |
| | 9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 28 | | | | 3 | | |
| | 10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 26 | 1 | | | 2 | | |
| | 11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。 | 15 | 3 | 3 | | 10 | | |
| 保護者 への 説明等 | 12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 30 | | 1 | | | | |
| | 13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 29 | 1 | | | 1 | | |
| | 14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 27 | 2 | | | 2 | まだ参加したことが無いです。 令和7年度もペアレントトレーニングの保護者向けの学習会、講座の企画を検討しています。ぜひ参加いただければと思います。 | |
| | 15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。 | 29 | 1 | | | 1 | | |
| | 16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 31 | | | | | | |
| | 17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 31 | | | | | | |
| 18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 21 | 5 | 1 | | 4 | | | |

| | | | | | | | | |
|---------|----|--|----|---|---|---|-----------------------------------|--|
| | 19 | 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 29 | | | 2 | | |
| | 20 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 30 | 1 | | | | |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。 | 24 | 3 | 3 | 1 | | |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 30 | 1 | | | | |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 27 | 2 | 1 | 1 | | |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 25 | | | 6 | | |
| | 25 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 29 | 1 | | 1 | | |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 28 | 2 | | 1 | | |
| 満足度 | 27 | 子どもは安心感をもって通所していますか。 | 30 | | | 1 | 親としては、くれよんさんの対応など素晴らしいので、安心しています。 | そのように感じてくださり、とても感謝しています。いつもありがとうございます。 |
| | 28 | 子どもは通所を楽しみにしていますか。 | 29 | 2 | | | | |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 30 | | | 1 | | |

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | くれよん（放課後等デイサービス） | | | | 公表日 | 令和 7年 3月 28日 |
|-------------|----|--|----|-----|---|---|--------------|
| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・ 体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 5 | 2 | ・お子さんの様子に合わせて過ごす部屋を分けている。 ・長期休みは、児童発達支援と放課後等デイサービスで利用時間を分けたため、改善された。 | | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。 | 2 | 5 | | ・法人内の他事業所（湧別・佐呂間）との連携があって成り立っているのが現状。 ・より丁寧な支援を目指し、職員の人数の確保をしていくことは急務。 | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 4 | 3 | | バリアフリー対応になっているため、玄関に段差が無く、靴の脱ぎ履きしやすいような場面がある。 一部バリアフリーの設備が不十分な箇所がある。 | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 5 | 2 | 古い建物ではあるが、間取りを改善したり改修して、心地よく過ごせるように工夫している。 | | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 6 | 1 | | | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 6 | 1 | | | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 5 | 2 | | 会議等で保護者に意向を確認する機会を作りたい。 | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 7 | | | | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 7 | | | | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 7 | | | オンライン及び参集の研修会にできる限り参加する。 | |
| 適切な 支援 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 7 | | | | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 7 | | | | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 7 | | | | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 6 | 1 | 計画を基に、会議で話し合いが行えている。 | パート職員は把握が出来ていないため、計画の共有を行っていく。 | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 5 | 2 | | | |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 6 | 1 | | 移行支援が難しいと感じている。 | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 6 | 1 | | | |

| | | | | | | | |
|--|----|--|---|---|--|---------------|---|
| 援 の 提 供 | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 7 | | | | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 7 | | | | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 6 | 1 | | | 送迎の兼ね合いで打ち合わせができないこともあるが、記録には必ず目を通してから支援に入るようにしている。 |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 4 | 2 | | | 送迎の兼ね合いで全員では行えないが、できる限り話すようにしている。 |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 7 | | | | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 7 | | | | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。 | 6 | 1 | | | |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 7 | | | | |
| 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 7 | | | | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 7 | | | | |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 7 | | | | |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 7 | | | | |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 6 | | | | |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 6 | | | | |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 1 | 6 | | | 交流が無く今後の課題。どのような方法であれば交流が可能か検討が必要。 |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 5 | 2 | | | |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 7 | | | | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 7 | | | | 令和7年度開催に向け準備をすすめ、多くの方に出席していただきたいと考えている。 |
| | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 7 | | | 契約時に説明を行っている。 | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 7 | | | | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 7 | | | | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 7 | | | | |

| | | | | | | |
|----------|--|--|---|---|--|---|
| 保護者への説明等 | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 | 6 | 1 | 茶話会や秋祭りなどの親子で参加ができる行事を取り入れている。 | 父母の会の活動はないため、今後検討が必要。 |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 7 | | | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 4 | 3 | 毎月の予定表にお知らせや通信を出している。 | たくさんのご家族に事業所の取り組みを知って頂くことができるよう、発信の仕方を検討していく。 |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 7 | | | |
| | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 7 | | 子どもにはツールやペクス、身振りで伝えられるように教えている | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | | 7 | 地域の人をたくさん招待することは難しいが、相談支援の方たちを招待をしている。 | |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 5 | 2 | ・マニュアルを作成し、避難訓練をしている。 ・予定表で訓練の日程、内容等を伝えている。 | 実施後の報告や周知を引継ぎ等で行っていく。 |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 4 | 3 | | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 6 | 1 | | 予防接種まで把握ができていない。 |
| | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 6 | 1 | | 保護者からの聞き取りにより、除去等の対応をしている。 |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 7 | | | |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 6 | 1 | | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 7 | | 会議で周知報告を行っている。 | 会議にて再発防止に向けた検討の時間を十分にとり、改善を図っていく。 |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 7 | | | |
| 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 7 | | | | |